

令和七年
新春ご祈祷
前申込受付中
(詳細は六面に掲載)



創刊 昭和29年1月25日 (846号) 令和6年11月25日発行

発行所 愛知県犬山市
成田山名古屋別院大聖寺
電 話 0568 (61) 2583 (代)
FAX 0568 (62) 7020
毎月1回25日発行

犬山成田山 検索



犬山成田山
ホームページ
←

開創七十一周年記念大法要にて祭文を奉読される
岸田照泰貫首 十一月三日、本堂にて



教苑

不易流行



当社は犬山で「日本モンキーパーク」「博物館明治村(収益部門)」「野外民族博物館リトルワールド」を運営しています。これらは元々、名古屋鉄道が「地域文化への貢献」を目的としてスタートしたもので、21年前、当社が引き継ぎました。

それぞれ開業して64年、59年、41年が経過し、本当に長い間、沢山のご支援をいただきながら営業しておりますが、その間、事業を取り巻く環境は目まぐるしく変化し続けています。

特にデジタルの進化は凄まじく、スマートフォン一つあれば、時間や場所を問わず、あらゆる情報を取得でき、誰でもコミュニケーションが取れ、ゲームや音楽、はたまたバーチャル空間も楽しめるため、当社のような時間や場所に制約を持つリアル施設にとって大変脅威となっています。

では、不可逆的なデジタル化のなか、今後、リアル施設は必要とされなくなっていくのでしょうか？

明治村では毎春、謎解きイベントを開催していますが、家族や友人グループが車座になってワイワイガヤガヤと謎に向き合い、「こんなに家族で一致団結したことがなかった」「友人と知恵を絞る合い、コンプリートしました」といったお言葉をいただきます。

デジタルによって便利になる反面、様々なものが希薄化する昨今、五感を使って、家族や友人と楽しむリアル施設は、記憶に残る楽しい思い出や人に伝えたい出来事に繋がる場として、私は逆に重要になっていくのではないかと考えています。

「不易流行」という言葉があります。この概念は、変わらない基盤と新しいアイデアを組み合わせて、持続的な成長や創造性を促進するものです。

当社もこの精神に則り、開業時の目的を忘れることなく、基盤となるその独自性やお客さまとのつながりを大切にしながら、デジタルとの融合を図っていくことで、今後も皆さまに必要とされる施設作りをしていくとともに、犬山の面としての発展に微力ながら貢献してまいります。

ぜひ、皆さまにおかれましても、一層のご愛顧、よろしくお願いいたします。

株式会社名鉄インプレス

取締役社長 鷲見勝彦

開創七十一周年記念大祭 盛儀に奉修

十一月二日、三日の両日、開創七十一周年記念大祭が奉修されました。

二日午前十時より大師堂において、宗祖弘法大師報恩法要が厳修され、続いて出世稲荷堂において法樂が営まれました。

同日午前十一時の大護摩供において、日本生花司松月堂

古流尾張支部により献華式が執り行われ、古式に則った作法によりご本尊宝前に献華されました。茶室若水庵では記念茶会が開催されました。

三日九時、十一時、十三時、十五時より記念大護摩供が本堂にて厳修されました。特に十一時からの記念大法要特別大護摩供では、天下泰平、国土安穩、信徒安全、交通安全、並びに災害被災地復旧復興が願意に掲げられ、大本山成田山新勝寺貫首岸田照泰大導師により熱

捧られました。

本堂は成田山索の会会員、講社講員など大勢の篤信、特縁の方々により埋めつくされ、真言宗智山派別格本山大須観音寶生院貫主岡部快

記念大法要



圓大僧正ご名代岡部快雅僧正様、真言宗智山派東海教区教区長佐伯光瑞僧正様、継鹿尾山寂光院山主松平實胤僧正様、成田山大阪別院主監金剛

照祐僧正様、成田山川越別院主監樋口照喜僧正様、成田山福井別院主監鶴田照新僧正様、大本山成田山新勝寺庶務部長鈴木照乗僧正様、成田山萬福院住職竹島照般僧正様を始め、教区内各山諸大徳、大本山成田山新勝寺及び大阪別院、川越別院、福井別院より

ご随喜ご助法を賜り、記念大法要が厳修されました。【写真上】

記念大法要には来賓として、信徒総代福玉精穀倉庫株式会社代表取締役会長社本宮明様、豊島株式会社代表取締役社長豊島半七様、名古屋鉄道株式会社代表取締役社長高崎裕樹様、株式会社TYK代表取締役会長牛込進様、参議院議員藤川政人様、愛知県議

八方宝剑法要



會議員村瀬正臣様、愛知県議會議員中村貴文様、犬山市長原欣伸様がご参列されました。

記念大法要後、引き続き記念式典が開催されました。先ず信徒総代高崎裕樹様が祝辞を述べられ、続いて小豆畑主監が謝辞を述べました。

式典終了後、信徒会館ホールにおいて記念パーティーが開催されました。

自動車交通安全祈禱殿屋上においては、三日午前九時の大護摩供後、八方宝剑法要が営まれ、宝剑を奉納された名古屋鉄道株式会社の代表者らが参列され、同社の社運隆昌、交通安全が祈願されました。

【写真右】

成田山名古屋別院 開創七十一周年記念大祭

祭文

伏して惟るに大聖不動明王者、慈悲を内心に秘して忿怒を外相に仮り、奴僕の相を現じては行人の傍を離れず、常に加護を垂れ災障を除き勝計を廻らし利生の益を施す靈尊なり。

是を以て大本山成田山御本尊不動明王は、人皇第五十二代嵯峨天皇の勅願により弘法大師一刀三札敬刻開眼し給える御尊像なり。其れより降て凡そ百三十年、第六十一代朱雀天皇の密勅により開山寛朝大僧正大靈験発光以来、茲に二千八十余年、愈々其の光を増し十方有縁の信徒踵を接して群参し、護摩供の香煙絶ゆること無し。

顧みれば夫れ成田山名古屋別院大聖寺は、昭和二十八年、当地篤信各位の熱誠に応え、景勝の地たる犬山白山平を寺域と定め堂宇を建立し成田山御本尊御分靈を勧請して開創せり。爾来、法灯茲に七十一年の星霜を重ね、今や中京鎮護不動尊信仰の一大霊場として確固たる隆盛を見るに至る。

是れ偏に、御本尊明王の靈験加護と謂うと雖も、総代並びに熱誠信徒各位の絶大なる外護信援無くば、安ぞ能く斯くの如く成らん乎。嗚呼、法幸無量、誠に感謝に堪えざる処なり。

然れば本日吉辰を卜し、謹んで香華を供え齋を莊嚴し、開創七十一周年記念特別大護摩供を奉修し、以て天下泰平 国土安穩 信徒安全 交通安全 災害被災地復旧復興を祈念し奉る

観れば夫れ 幡蓋金風に翻て十方信徒影向を覚え、聴けば夫れ梵音空に響き景趣既に法会に契当せり。感応何ぞ唐捐ならん乎。

仰ぎ冀くは御本尊不動明王、願主が熱禱を哀愍納受し、速やかに明王護念の加被力を廻して加持感応、靈験加護を垂れ給わんことを。乃至法界 平等利益

維時令和六年十一月三日

大本山成田山新勝寺貫首
大僧正 照泰 敬白

祝 辞

成田山名古屋別院大聖寺信徒総代
成田山索の会副会長
名古屋鉄道株式会社代表取締役社長

高 崎 裕 樹



大本山成田山名古屋別院大聖寺開
創七十一周年記念大祭にあたり、信
徒を代表いたしまして一言お祝いの
言葉を申し上げます。

菊花薫る今日の良き日、大本山成
田山新勝寺貫首 名古屋別院大聖寺
住職の岸田照泰大僧正ご親修のも
と、開創七十一周年記念大祭大法要
が盛儀に奉修されましたこと、心よ
りお祝い申し上げます。

当別院は、多くのご信徒皆様の熱
誠とご信援により、昭和二十八年
十一月三日、景勝の地犬山に、大
本山成田山新勝寺より、ご本尊不動
明王尊を勧請してから七十一年の星

霜を経て、本日の開創記念大祭を迎
えられたことは大変慶ばしい思いで
あります。

昨年十二月には当名古屋別院主監
に小豆畑照観僧正がご就任をなさ
れ、今後益々のご隆盛を極める事と
存じます。

さて、移りゆく生活環境の中では
人々が交流し楽しむ様子を俯瞰し、
体感できる空間や施設が必要かと存
じます。私どもをとりまく目まぐる
しい世界情勢をはじめ、自然災害な
ど心配事の多い中、当別院には開創
以来絶えることなく、多くのご信徒
が心の平安や、現世のご加護とご利
益を求めて参拝されており、ここに
成田山名古屋別院が発展の変遷を遂
げながらも、東海不動尊信仰の一大
霊場として威容を誇っておりますこ
とは、私ども信徒の心の拠り所とし
てこの上ない歓びで御座います。

最後になりますが、不動明王尊の
ご加護のもと、成田山名古屋別院大
聖寺の益々のご繁栄とご隆昌を願う
とともに、ご信徒皆様のご健勝、ご
多幸をご祈念申し上げ、お祝いの言
葉といたします。

謝 辞

成田山名古屋別院大聖寺主監

小 豆 畑 照 観



一言御礼のご挨拶を申し上げます。
昨日の風雨が法雨となり境内が
浄められ、瑞気満ちあふれる本日の
佳き日、ここに大本山成田山新勝寺
貫首・岸田照泰大僧正ご親修のもと、
大勢のご信徒皆様と共に、名古屋別
院の開創七十一周年記念大祭を奉修
いたしましたところ、ご信徒皆様

方には、公私何かとご多繁の折にも
関わらず、当山信徒総代名古屋鉄道
株式会社代表取締役社長 高崎裕樹
様、福玉精穀倉庫株式会社代表取締
役会長社本宮明様、豊島株式会社代
表取締役社長豊島半七様、株式会社
TYK代表取締役会長牛込進様、参
議院議員藤川政人様、愛知県議会議
員村瀬正臣様、愛知県議会議員中村
貴文様、犬山市長原欣伸様、並び
に特縁、篤信各位、成田山索の会々
員各位、成田山各講社、講員各位を

始め大勢のご参列をいただき、殊に
は真言宗智山派別格本山大須観音寶
生院貫主岡部快圓大僧正ご名代岡部
快雅僧正様、真言宗智山派東海教区
教区長佐伯光瑞僧正様、継鹿尾山寂
光院山主松平實胤僧正様、成田山大
阪別院主監金剛照祐僧正様、成田山
川越別院主監樋口照喜僧正様、成田
山福井別院主監鶴田照新僧正様、大
本山成田山新勝寺庶務部長鈴木照乘
僧正様、成田山萬福院住職竹島照般
僧正様、並びに教区内各山諸大徳の
ご随喜及び成田山本山、大阪、川越、
福井各別院のご助法を仰ぎ、厳肅且
つ盛況裡にお勤めできましたこと、
誠に有り難く衷心より厚く御礼申し
上げます。

顧みますれば当山が昭和二十八年
十一月三日、この犬山の淨地に大本
山新勝寺からご本尊不動明王尊のご
分身を勧請申し上げ、諸堂が建立さ
れてより、お陰様をもちまして本年
で七十一周年を迎えました。この間、
護摩供の香煙絶ゆることなく、ご本
尊不動明王尊のご威徳増々顕現せら
れ、誠に法幸限りなく存じますこと
と、これ偏にご信徒皆様のご信援ご
信助の賜物と深く感謝申し上げます次
第であります。

さて、開創記念大法要の願意の一
つに、「災害被災地復旧復興」とあ
ります。本年は年頭の能登半島の大地
震から始まり、猛暑と台風、局地

的豪雨と自然災害が相次ぎ多くの悲
しみを生むこととなりました。大自
然の恩恵をいただいて生きつつも、
自然の大きな力には逆らえない、人
の世のはかなさを感じた一年だった
ように思えます。当山と致しまして
は被災地支援の募金活動はもとより、
詰合員一同不動明王尊に仕える
ものとして、今後共、世の助けとな
るよう社会奉仕と地域活性化及び発
展に寄与する活動や、地域コミュニ
ティーとしての役割を真摯に担って
まいる所存でございます。

重ねて、わたくし自身、昨年十二
月を以て新たに名古屋別院第五代
主監に任じられましたのを期に、今
日までの知識や経験を活かしながら、
常に新しいことに対しても柔軟
に学び続け、時代に即した当山の在
り方を希求し、別院の興隆と社会貢
献に邁進してまいります。改めまし
て今後共、皆様様の更なるご理解ご
信援を賜りますよう至心にお願ひ申
上げます。

本日の開創七十一周年記念大祭を
無魔成満できましたことに、厚く御
礼申し上げます。

尚、最後になりますが、諸事何か
と不行届きの点お詫び申し上げます
と共に、不動明王尊のご加護のもと、
ご信徒各位の一層のご繁栄並びに無
事息災を心からご祈念申し上げます
で、御礼のご挨拶といたします。

開創 71 周年記念大祭
11月2日～3日

スナップ・フォト

記念大法要後の集合写真



記念大法要



大導師・職衆



本堂を埋め尽くすご信徒



献華式



受付に訪れるご信徒



弘法大師報恩法要

セイノーホールディングス(株)

祈願祭並びに物故者慰霊法要

十一月一日、セイノーホールディングス株式会社（本社



岐阜県大垣市）において、創立七十八周年祈願祭並びに同社グループの物故者慰霊法要が、小豆畑主監お導師のもと営まれました。
当日は同社社長田口義隆様はじめ各グループ社長、並びに代表社員が参列され、午前八時五十八分より祈願祭を厳修、終了後、物故者慰霊法要が厳粛に執り行われました。

第61回 学童席上揮毫大会表彰式開催



十一月九日、「第六十一回成田山学童席上揮毫大会」の表彰式が信徒会館ホールにて開催されました。
午前十時より開催された表彰式では、大藪法教部長の挨拶、審査を担当された津田秋月先生の講評の後、成田山明王賞を受賞された吉永尚真さん【写真】はじめ、特別賞受賞者に賞状と記念品が授与されました。

犬山中学校

職業体験

十月十七日、十八日、犬山市立天山中学校二年生の生徒三名が当山を訪れ、「職業体験」を実践されました。
生徒はお護摩を参拝し、また抹茶接待、写経、境内清掃、仏器磨きなどに真剣に取り組み、実社会での礼儀作法を学びました。



秋季大祭 土々ヶ根不動尊

十一月二十日、恵那市土々ヶ根町内の恵那自動車検査場にて、地元自動車業界関係者が参列され、土々ヶ根不動尊秋季大祭が厳修されました。

星まつりのご案内

毎年、人にはその人の歳に相当する星が巡ってまいります。星まつりは、人それぞれが相当する当年星をまつり、その歳の災いを除き幸せを增長する大事な儀式であります。成田山ではご本尊不動明王のご宝前におきまして、真言密教の秘法により除災招福をご祈念申し上げます。
お礼は二月三日より七日間で祈禱を厳修した後、お申込みされた方に発送いたします。

令和7年乙巳歳の運勢（かぞえ歳）

○	○	●	●	○	●	●	①	●
木曜星	月曜星	計斗星	火曜星	日曜星	金曜星	水曜星	土曜星	羅喉星
吉	吉	凶	凶	吉	半吉	半吉	末吉	凶
此の星に当る人は除災招福の象にして万事好都合に運ぶが如し。目下の意見聞き急を慎むべし。	此の星に当る人は進退の象なれど過ぎたるはなほ及ばざるが如し。心して進退を要す。	此の星に当る人は万事災い多き象にして諸事思ふにまかせず。至つて心労多く損失難別病災等に注意す。	此の星に当る人は疲労困憊の象にして災厄 病難等に注意す。	此の星に当る人は盛運にして万事順調に運ぶ象なれども慢心すれば大吉反つて凶となるに注意す。	此の星に当る人は運勢隆るの象にして黒き雲の如く消き月の光も隠るるが如く口舌 争論 傷害等用心すべし。	此の星に当る人は幸運の象にして善業を積み目上の引立 亦意外な利得あり口舌 傷害等用心すべし。	此の星に当る人は運勢漸く開くの象にして諸事準備なれば花綻ぶが如くなれど急れば災害事あり。	此の星に当る人は運勢漸く開くの象にして諸事準備なれば災難あり。家内他人に口舌事多し。なお病難に注意を要す。信心堅固にして慎むべし。
平成29年生 9歳	平成30年生 8歳	令和元年生 7歳	令和2年生 6歳	令和3年生 5歳	令和4年生 4歳	令和5年生 3歳	令和6年生 2歳	令和7年生 1歳
平成20年生 18歳	平成21年生 17歳	平成22年生 16歳	平成23年生 15歳	平成24年生 14歳	平成25年生 13歳	平成26年生 12歳	平成27年生 11歳	平成28年生 10歳
平成11年生 27歳	平成12年生 26歳	平成13年生 25歳	平成14年生 24歳	平成15年生 23歳	平成16年生 22歳	平成17年生 21歳	平成18年生 20歳	平成19年生 19歳
平成3年生 36歳	平成4年生 35歳	平成5年生 34歳	平成6年生 33歳	平成7年生 32歳	平成8年生 31歳	平成9年生 30歳	平成10年生 29歳	平成11年生 28歳
昭和56年生 45歳	昭和57年生 44歳	昭和58年生 43歳	昭和59年生 42歳	昭和60年生 41歳	昭和61年生 40歳	昭和62年生 39歳	昭和63年生 38歳	昭和64年生 37歳
昭和38年生 54歳	昭和39年生 53歳	昭和40年生 52歳	昭和41年生 51歳	昭和42年生 50歳	昭和43年生 49歳	昭和44年生 48歳	昭和45年生 47歳	昭和46年生 46歳
昭和20年生 63歳	昭和21年生 62歳	昭和22年生 61歳	昭和23年生 60歳	昭和24年生 59歳	昭和25年生 58歳	昭和26年生 57歳	昭和27年生 56歳	昭和28年生 55歳
昭和11年生 72歳	昭和12年生 71歳	昭和13年生 70歳	昭和14年生 69歳	昭和15年生 68歳	昭和16年生 67歳	昭和17年生 66歳	昭和18年生 65歳	昭和19年生 64歳
昭和3年生 81歳	昭和4年生 80歳	昭和5年生 79歳	昭和6年生 78歳	昭和7年生 77歳	昭和8年生 76歳	昭和9年生 75歳	昭和10年生 74歳	昭和11年生 73歳
昭和29年生 90歳	昭和30年生 89歳	昭和31年生 88歳	昭和32年生 87歳	昭和33年生 86歳	昭和34年生 85歳	昭和35年生 84歳	昭和36年生 83歳	昭和37年生 82歳
昭和19年生 99歳	昭和20年生 98歳	昭和21年生 97歳	昭和22年生 96歳	昭和23年生 95歳	昭和24年生 94歳	昭和25年生 93歳	昭和26年生 92歳	昭和27年生 91歳
大正7年生 108歳	大正8年生 107歳	大正9年生 106歳	大正10年生 105歳	大正11年生 104歳	大正12年生 103歳	大正13年生 102歳	大正14年生 101歳	昭和元年生 100歳

◆ご祈禱料

小札 一千元以上
中札 二千元以上
大札 三千元以上

◆お申込み方法

境内各受付所にある申込用紙に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。星まつりは一年中いつでもお申込みいただけます。





当山では、毎年元日より『新春特別大護摩供』お護摩ご祈禱を厳修いたします。
お不動さまのご分身ご分霊であるお護摩札を加持し、新年が皆様におかれまして素晴しい年でありますようご祈念申し上げます。
ご信徒皆様には、新年のご祈禱をお受けいただき、気持ちを新たに一年を始められることをお勧めいたします。
ただいま、各受付所において**新春ご祈禱の予約申し込み**を受付しております。年始は各受付所が大変混雑いたしますので、年内早めの予約申し込みをお勧めいたします。

令和七年
2025年
新春ご祈禱
事前申し込みご案内

交通安全自動車祈禱札

交通安全自動車御守札

一金
二千五百円以上

交通安全自動車御守札

一金 一万円以上
(一万円以上は芳名を
祈禱殿内に掲示します)

一金 三千五百円以上

一金 五千円以上

お護摩札

すべての御札に朱書きで
『新春祈願』が入ります。

お護摩札

一金 三千五百円以上

一金 五千円以上

一金 一万円以上

一金 三万円以上
(大護摩ご祈禱料三万円以上は
本堂前に芳名を掲示いたします)

一金 五万円以上

お護摩祈禱の願意

家内安全 学業成就
商賣繁昌 身心健全
交通安全 海上安全
開運成就 身体健全
心願成就 息災延命
事業繁栄 当病平愈
災難消除 必勝
工事安全 安産
工場安全 他
旅行安全

お札郵送のご案内

諸般の都合により参拝できない
ご信徒皆様には、お護摩札を郵
送にて授与いたしております。
ご希望の方は、お電話にてお
問い合わせ下さい。

索の會だより

開創七十一周年
記念大祭厳修

十一月三日、開創七十一周年記念大祭が奉修されました。索の会会員が開創七十一周年を祝しました。会員各位には、事務局よりご祈念札をお授けいたしました。

物故者慰霊法要
支部総会開催

―岐北月参講支部―

岐北月参講支部では、十月一日物故者慰霊法要参拝を兼ねた支部総会を開催しました。支部結成以来の物故者を供養した後、本堂にてお護摩ご祈禱後、信徒会館にて支部総会が行われました。

令和五年度会計報告・活動報告、支部員増強など話し合いがもたれました。 菱木記

支部総参拝

支部総会開催

―丹羽支部―

十月三日、丹羽支部（支部長 社本宮明氏）の支部総参拝並びに総会を開催されました。本年は、成田山榑谷僧正による法話を拝聴後、大護摩供を参拝し、所願成就を祈願されました。大護摩供終了後、本堂内にて総会を実施いたしました。はじめに、今枝事務長の司会のもと、丹羽支部員物故者に対し、黙禱を捧げ「私たちの誓い」の唱和をした後、小豆畑主監の挨拶を頂戴いたしました。社本支部長挨拶後、事務局からは、令和五年度事業報告・令和六年度事業報告をし、承認されました。

田尻記

事務局よりお知らせ

十一月の開創記念大祭に欠席された索の会会員の方で、ご祈念札をご希望の方には、十二月末日まで本堂右側総受付にて授与いたしております。

貞照寺だより

開創九十二周年記念大祭厳修

十月二十八日、開創九十二周年記念大祭を執り行いました。本堂では午前十時三十分

より開創記念大護摩供を厳修、参拝信徒の所願成就を祈願しました。

『貞奴マルシェ』開催

十月二十六日、第三回『貞奴マルシェ』が開催されました。

当日は天候に恵まれ、多くの来山者が訪れました。参道沿いに並んだ御店やキッチンカー、また庫裡でのワーク

ショップ等、合計十四店舗が出店され、各々お買い物を楽しみました。【写真上

本堂では午前中大護摩供を厳修。また境内では各務原太鼓保存会の皆様による奉納太鼓【写真左】を午前



と午後の二回、またコパンスポーツクラブ鶴沼チアダンス部のお子様によるダンスの奉納も行なわれました。【写真右】

一日通して沢山の方で賑わいを見せた『貞奴マルシェ』はとても好評で、「ぜひ来年も」と沢山の方からお声掛けを頂きました。今後とも企画したいと考えております。

奉納者芳名

(順不同敬称略)

10月分

◆銅板

一宮市 今枝 清子
岐阜市 安田 薫子
各務原市 酒向 妙子

〃

柏木 桂子
フランス流ECO
スタイルどり

貞奴縁起・諸芸上達・所願成就

成田山貞照寺

ホームページ

〒509-0123
各務原市鶴沼宝積寺町 5-189
電話 (058)384-0202



出演
金光順子（ソプラノ）

◆諸芸上達大護摩供
午前十時半より
◆奉納コンサート
午前十一時より

貞奴忌のご案内
十二月七日（土）

◆お供
岐阜市 安田 薫子
奈良県 藤本 絵里香
岐阜市 柴田 友香利
京都市 島崎 央美
◆大ローソク
奈良県 藤本 絵里香
各務原市 安達 重厚

12月の成田山行事

- ◆ご縁日 1日、15日、28日
- ◆ご詠歌講習会 15日
午後1時 信徒会館3階
- ◆納め大師 21日 大師堂
- ◆写経会 28日 信徒会館3階
- ◆納め不動 28日 本堂
- ◆除夜の鐘 31日 鐘楼堂

行事は中止または内容が変更となる場合がございます。最新情報はホームページ、境内掲示、お電話にてご確認ください致します。

冬の交通安全週間
特別ご祈禱のご案内
期間 12月1日～10日

当山では年4回の「交通安全週間」の主旨に賛同し、この期間中に交通安全ご祈禱を受けられた方に「交通安全之証」を授与して、より一層の交通安全のご加護を得られますよう心よりお祈り申し上げます。



思いやり駐車スペース
のご案内

車への乗り降りに広いスペースを必要とする高齢者、障がい者、妊産婦等のための優先駐車スペースを自動車祈禱殿前、本堂裏に設けました。どうぞご利用下さい。



奉納御礼



自動車祈禱殿前看板
株式会社第一誠様
(名古屋市)

銅板志納者芳名

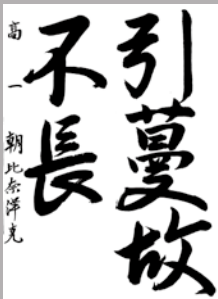
(順不同敬称略)

十月

各務原市 (株)TEAM
海津市 (有)みの運輸
彦根市 中川 佐千代
埼玉県 田中 勝見

紙上書道展

高一 朝比奈洋克
【評】運筆よく伸び伸び書けました。



中三 浅野 凜
【評】配置よく丁寧に書けました。

中二 土師 澤南
【評】丁寧な運筆で書けました。

十月の大護摩供

修行者芳名

(順不同敬称略)

名古屋市 港トラック成田講
瑞穂市 丸門建設(株)
羽島市 丸門運輸(株)
名古屋市 (株)TKB
東近江市 滋賀丸門運輸(株)
各務原市 (株)TEAM
碧南市 井上メッキ工業(株)
名古屋市 (株)ナカノフードー建設
名古屋支社 朴功

埼玉県 美濃加茂市 田中 恵子
岩倉市 田中 源紀
知多郡 榎本 貴子
" 榎本 瑞麒
" 榎本 貴子
名古屋市 内海鍛造(株)
小牧市 宮澤 保雄
各務原市 玉置 八代美
名古屋市 松本 光子
多治見市 井上 英子
早川 勇

十月の自動車特別
ご祈禱修行者芳名

(順不同敬称略)

春日井市 伊藤 豪則

十月の登山講社

名古屋市 名古屋成田講
" 成田山金山橋講

名古屋市 (株)みやび技研
犬山市 伊藤 雅樹
岡崎市 浦本 藍加
名古屋鉄道(株)
舞木検査場親睦会
丹羽郡 成田山索の会
丹羽支部
加茂郡 (株)白川園本舗
稲沢市 (株)ブランテック
犬山市 犬山ボタリングクラブ
河田 眞知子
恵那市 成田山明智大教会
千葉県 花升商店
市川 吉一

夜間境内閉鎖
のお知らせ

防犯及び安心安全確保のため、夕方6時から翌朝6時まで、施錠を以て境内地を完全封鎖します。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

おくやみ

鈴木 博氏

成田山岐北月参講講元・成田山索の会常務理事鈴木博氏が十月二十八日、逝去されました。告別式は十一月二日、岐阜葬祭岐阜中央ホールにて営まれました。喪主は鈴木伸典氏。

「編集室より」は紙面の都合上、休載いたします。